



病理検査報告書

H0000000

氏 名: シズオカ ハナコ オ 患者番号: 採取日:

依頼医療機関名: パソネット医院 依頼医: 検体:

I D					病院名	184	ネット医院	毛	梼
(フリガナ) 患者氏名	ジズオカ	八十コ花子		様	依頼科				彩
生年月日	47.1	7100		男・女	採取日		年	月	E
	年	月	B	才	臓器数	□ 1臓器	□ 2臟器	3 臓器	以上
検査部位略図、	材料、採取方	法、病理医	医への依	頼内容 等		6年40+) 歐所見)		
検査部位略図、 透見像の 透見像の 自己免疫性 新理的に	材料、採取方法 ない体上部 ある胃を部 に胃炎を疑	法、病理の 大賞を! 大賞を!	生検	瀬内容等)		

【病理検査結果】

stomach, biopsy

#1-#4: Chronic atrophic gastritis in the corpus mucosa

C/W Autoimmune gastritis

(自己免疫性胃炎に一致する所見です)

【病理所見】

- ①②体上部大弯
- ③4胃底部大弯

いずれも同様の所見を呈しています。

胃底腺粘膜としての体をなしていません。

腺頚部より深部では、壁細胞・主細胞は明らかでなく、偽幽門腺化生・幽門腺化生となっています。腺頚部より表層では腺窩上皮が過形成を示し、粘膜丈の1/2が腺窩上皮になっています。腸上皮化生はみられません。中等度~高度のリンパ球主体の炎症細胞浸潤がみられ、好酸球を混じますが、活動性(好中球浸潤)には乏しいです。

偽幽門腺化生・幽門腺化生のところで核が重積しているようにみえ、ECL細胞過形成の可能性もあります。
*クロモグラニンA免疫染色でECL細胞過形成が明瞭です。

病理医1: 病理 太郎 株式会社パソネット

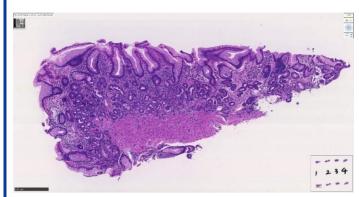


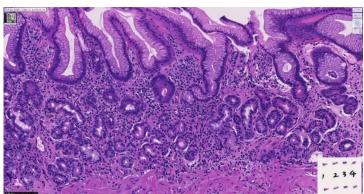
病理検査報告書

H0000000

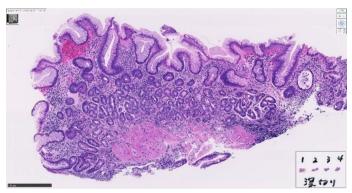
氏 名: シズオカ ハナコ オ 患者番号: 採取日:

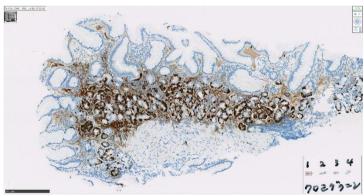
依頼医療機関名: パソネット医院 依頼医: 検体:



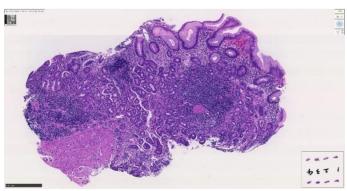


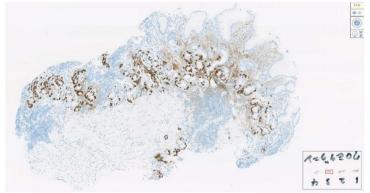
① 拡大





①追加HE ①クロモグラニンA





③クロモグラニンA

病理医1: 病理 太郎 株式会社パソネット

本報告記事を公表される際は予め弊社までご連絡ください。